

社会科学の基礎A		講義	教授 丸山 高行	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200107	

1. 授業のねらい・概要

この科目は、極めて広い学問領域である「社会科学」について、エッセンスを効率よく学ぶことを目標とする。また、単なる各種資格試験対策の知識吸収にとどまらず、これから学生諸君が立派な社会人として世界各国で活躍するための、基礎固めができることを目指す。まず社会科学の基礎Aでは、日本の政治・法律・経済といった基本分野に焦点を当てる。

2. 授業の進め方

毎回の授業は、レジュメや配布資料等に基づき講義形式で行うが、一方通行の授業ではなく随所でケース・スタディを提示し、相互ディスカッションを含め、共に考える時間をとるようにする。また、毎回、授業の最後に、その日の授業で学習した内容に関する課題として3問程度練習問題を提示し、集中して考える時間を設ける。この課題の提出をもって授業への出席とカウントするとともに、Google Classroomにて、課題の解説動画をオンライン配信する。さらに、経済・金融関係の知識を効率よく身に付けるために、「賢者のポートフォリオ」というシミュレーション・ソフトを導入し、ゲーム感覚で株式投資の疑似体験ができる環境を用意する。

3. 授業計画

1. イントロダクション	9. リスクとリターン、分散投資
2. 戦後から現代までの日本の政治	10. 株式投資理論の基礎
3. 日本の統治システムの特徴（特に天皇の地位と機能）	11. 景気を判断する資料の見方
4. 日本の統治システムの特徴（特に内閣と三権分立）	12. 為替レートと景気・株価との関係
5. 大日本帝国憲法と天皇制	13. 債券投資理論の基礎
6. 日本国憲法の重要条文	14. 短期金利と長期金利の関係
7. 自由民権運動と議会制民主主義	15. 全体のまとめ（社会科学の基礎Bへ向けての準備）
8. 経済について詳しくなるコツ（金融リテラシーの重要性）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

レジュメは、1回の授業につき、パワーポイントのスライド12枚が提供される（社会科学の基礎A全体で180枚）。スライド12枚は、毎回の授業テーマに沿った図表と、図表に関する解説文から構成される。さらに、レジュメには、関連する資料や参考文献へのリンクおよびQRコードが貼り付けられている。受講者は、レジュメの内容を理解し、関連資料や参考文献にもアクセスして必要知識を整理するとともに、課題の解説動画を視聴することによって、毎回、1時間程度の復習を行うことが望ましい。なお、前年度のレジュメを授業スタート時にGoogle Classroomで公開するので、適宜、予習に役立ててほしい。また、経済・金融関係の授業の予習・復習のために、「賢者のポートフォリオ」を積極的に活用すること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の課題については、上記の通り、Google Classroomに解説動画を配信する。期末試験は、課題（4問程度）にレポートの提出を加える形で行う。期末試験についても、終了後、解説動画を配信するので、解答が不十分だったところは直ちに復習しておくこと。

6. 授業における学修の到達目標

社会科学のうち、特に政治・法律・経済関係の基礎知識が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。

また、現実の政治の動きや企業活動、株式・債券市場の動きなど、ビジネスと密接に関連する話題にも適宜触れるので、社会科学の諸分野について、さらに勉強しようという意欲が高まることを期待する。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（20％）および定期試験の結果（80％）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

毎回の授業で提示するレジュメが、テキストとなる。また、レジュメの中で、適宜参考文献を紹介する。

9. 受講上の留意事項

社会科学の基礎Aと社会科学の基礎Bは関連性が深いので、セットで受講することが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。